

平成 12 年 1 月 18 日

各 位

株式会社 大 京
広報室長 大越 武

国内最大級のアウトレットモール 「コンフォーモール内灘」商業地で —北陸・金沢で開発・運営—

株式会社大京（本社所在地：東京都渋谷区、社長：長谷川正治）は、石川県河北郡内灘町で弊社が所有している開発総面積 174,000 m²に、住宅開発・商業施設を中心とした大規模開発プロジェクト「コンフォーモール内灘」の建設を進めておりますが、そのうちの商業施設用地（75,200 m²）の一部（24,900 m²）を使用して、国内最大級のアウトレットモールを開発・運営することとなりましたので、お知らせいたします。

大京がこのアウトレットモール分野に進出するのは、これが初めてです。今回の、このアウトレットモールには、話題性の高いテナントやアミューズメント施設、レストラン、地元放送局がキーテナントとなり、約 60 店舗の出店を予定しております。平成 12 年 11 月に着工、平成 13 年 5 月に竣工し、平成 13 年 6 月にオープンを予定しており、これが完成すれば国内最大級の規模のものとなります。

今回、大京が手掛けるアウトレットモールが入る [Bゾーン] のコンセプトは、

- ①ファッション性を重視し、広域からの集客の核とする。
- ②話題性の高いテナントミックスにより、従来のヤングのみならず、キッズおよびメンズ対応のゾーンを構築する。
- ③単なる買い物ではなく、カジュアルなりゾート気分の 1 日を演出する。
- ④地元放送局のサテライトスタジオを設置し、そこからアウトレットモール内施設の関連イベントや最新ファッション情報等を発信する。

なお、アウトレットモールが入る [Bゾーン]（24,900 m²）の概要は次のとおりです。

- ①施設は、アウトレットモール棟（建物延床面積約 10,000 m²）、飲食棟 7 棟、アミューズメント棟、地元放送局棟の合計 10 棟
- ②アウトレットモール棟の店舗数＝約 60 棟
- ③駐車場台数＝約 2,500 台

アウトレットモール（ゾーン）とは、

「各メーカーで生産・販売しているブランド商品の過剰生産在庫および販売機会を逃した前期残商品（キャリア商品）を集中させ、廉価な価格にて販売する店舗街」を意味しています。

「コンフォモール内灘」の商業施設用地（75,200㎡）は、各特性に合わせて3つのゾーン、すなわち[Aゾーン]は生活関連ゾーン（35,600㎡）、[Bゾーン]はアウトレットモール、飲食、アミューズメントゾーン（24,900㎡）、[Cゾーン]はホテル関連ゾーン（14,700㎡）に区分し、統一したイメージでそれぞれの楽しさや変化の演出を加えていくこととしました。

このうち、今回、大京が手掛けるのは[Aゾーン]と[Bゾーン]の2つのゾーンで、2つとも平成13年6月オープンを予定しています。

[Aゾーン]の生活関連ゾーンには、①スーパーマーケット棟（株式会社バローの大型スーパー店舗）、②ホームセンター棟、③ファニチャー棟の合計3棟の予定。

この[Aゾーン]と、アウトレットモール棟を中心とした[Bゾーン]とを合わせた総事業費は約30億円、売上げ目標は約100億円（初年度）。

なお、[Cゾーン]のホテル関連ゾーンは、ホテルやスポーツクラブを配置する予定で、計画中の段階です。

「コンフォモール内灘」全体における開発テーマは、「自然と一体化した、ここちよい居場所・空間」とし、人と自然、人と人々が親しく交流し、生きる喜びを実感できる快適な環境のある新世紀ショッピングセンターと位置づけております。

「コンフォモール内灘」の全体計画は17万4,000㎡の大規模開発となり、①商業施設用地、②住宅地、③アメリカ村住宅地、④道路・公園・駐車場等 —— から構成されています。

①の商業施設用地（75,200㎡）は、A、B、Cの3ゾーンに分かれている。

②の住宅地（24,000㎡）は、昨年9月に近鉄不動産に引き渡し済み。

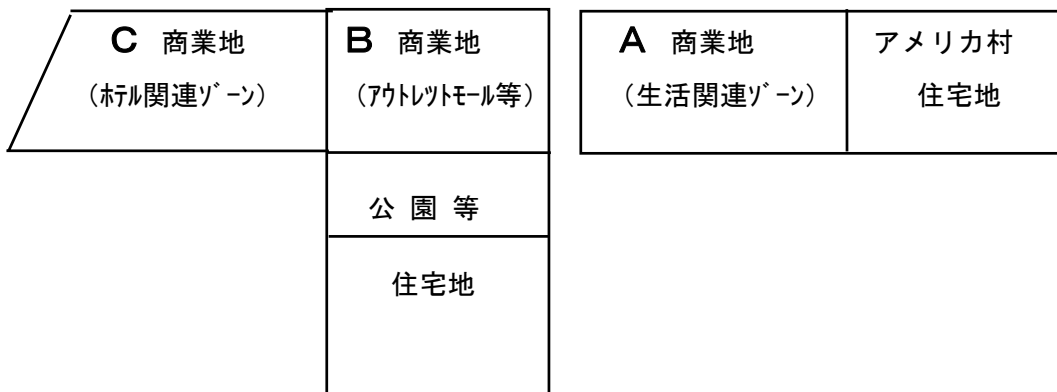
③のアメリカ村住宅地（14,300㎡）は、ハウスメーカー数社への引き渡し交渉中。

「コンフォモール内灘」の全体計画概要

1. 物件概要

- ・所在地：石川県河北郡内灘町向粟崎チ1番158他
- ・地積：174,000㎡
- ・用途：市街化調整区域(市街化区域編入予定)

2. 全体土地利用計画図



3. 事業区分別面積内訳

事業区分	敷地面積	予定建築面積	区画数
1. 商業地	75,200㎡	約32,300㎡	—
商業地A (生活関連ゾーン)	35,600㎡	3棟 約19,000㎡	—
商業地B (アウトレットモール、飲食、 アミューズメントゾーン)	24,900㎡	10棟 約13,300㎡ (うちアウトレットモール棟 約10,000㎡)	—
商業地C (ホテル関連ゾーン)	14,700㎡	未定	—
2. 住宅地	24,000㎡	—	130区画
3. アメリカ村住宅地	14,300㎡	—	66区画
4. 道路・公園等	60,500㎡	—	—
合計	174,000㎡	—	199区画

「コンフォモール内灘」における商業施設について

●「コンフォモール」の定義

この「コンフォモール内灘」は、[パワーセンター + ファクトリーアウトレット = バリューセンター] という概念に加え、アミューズ・シネコン・スポーツクラブ・地元放送局サテライトラジオ・ホテル等の色々楽しめることのできるものです。自然いっぱいの1日を堪能できるモールとして、また、まったく新しいターミノロジーとして、「コンフォモール」といたしました。

●環境デザインテーマ

「自然と一体化した…こちよい居場所／空間」

人と自然、人と人が親しく交流し、生きる喜びを実現できる、快適な環境のある新世紀ショッピングセンターと位置づけています。

内灘海岸・砂浜・海水浴場・松林・乗馬クラブ・ヨットハーバー・ゴルフリンクス

流行のトレンド変化を「風」のテーマをモチーフとする。

全体街区をMD特性に合わせて3つのゾーンに区分し、統一したイメージに、それぞれの楽しさや変化の演出を加えていく

●ゾーニング計画：

街 区	Aゾーン
MDテーマ	ホーム&ライフ=もっとスタイルのある暮らしを
ゾーンコンセプト	Daily・Weekly・Monthly 単位での主婦～ファミリー層のライフスタイル提案型
テナント構成	NSC、HC、家具、家電、玩具、雑貨、レストラン

街 区	Bゾーン
MDテーマ	アウトレット／食&遊／地元放送局=新しいショッピングの楽しさを
ゾーンコンセプト	<ul style="list-style-type: none"> ・ファッションの提案を強化し、広域からの集客の核とする ・話題性の高いテナントミックスにより、従来のヤングのみならず、キッズおよびメンズ対応のゾーンを募集する ・単なる買い物ではなくカジュアルなリゾート気分の日を演出 ・地元放送局サテライトスタジオからは、各種イベント・最新ファッション情報を発信
テナント構成	話題性の高いテナントミックスーファクトリー・アウトレット、アミューズメント、レストラン、地元放送局

街 区	Cゾーン
MDテーマ	リゾート&アスレチック=よりフレッシュな充実を
ゾーンコンセプト	地域コミュニティー機能およびリザクゼーション・ゾーン滞在型リゾート
テナント構成	スポーツクラブ、ホテル

●交通アクセス：

(電車の場合)

JR「金沢」駅で北陸鉄道浅野川線に乗り換え、
終点「内灘」駅で下車。(「金沢」駅から「内灘」
駅まで15分)

(バスの場合)

JR「金沢」駅東口前バス停の北鉄バス「宇ノ気」
行きで20分、「内灘」バス停下車

(車の場合)

北陸自動車道「金沢東インターチェンジ」より15
分、「金沢西インターチェンジ」より25分



●全体イメージ写真



この件に関する問い合わせ先

株式会社大京 広報室(担当:伊奈) 03-3475-3802